

2025年（令和7年）11月18日 火曜日

東奥日報11面 掲載



高校の教室に新聞を

私たちも使っています！

新聞は、知識の翼を広げる「生きた教材」です。高校生には、青森県内や国内外で起きている出来事に理解を深め、将来を切り開く力を身につけてほしい。東奥日報社はこうした考えのもと、企業、団体、大学などの協賛・賛同を得て県内17の私立高校の2、3年生全クラスに新聞を贈っています。

本事業に関するお問い合わせは、東奥日報社ビジネス局営業部（017-739-1181）まで。

【協賛企業・団体】青森新都市病院、青森大学、青森中央学院大学・青森中央短期大学、上北農産加工、鹿内組、東奥日報販売店会、東北電力、野村證券、八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部、八戸工業大学（五十音順）

国語の成績アップ

小学生の頃から新聞を読んでいた。新聞はその日の天気予報やニュースを分かりやすく知らせてくれます。新聞のおかげで国語の成績も上がりました。分からない漢字や難しい文もあるけれど、それについて家族で話すことも楽しみの一つです。新聞は正確な情報を提供してくれるので、これからも読んでいきたいと思っています。

やまこ ゆうな
山子 優七さん
普通科進学コース3年
国際教養系



やまのり こうたろう
中村 虎太郎さん
普通科進学コース3年
国際教養系



知識深め将来広げたい

幼少期から新聞は身近な存在でした。高校生になって新聞に触れる時間は少なくなりましたが、自分の興味のあるものが見出しから一目で分かり、探す手間も省けるため愛用しています。僕は新聞を読み、経済や経営に興味を持つようになりました。新聞で知識を深めて自分の将来の可能性をさらに広げていきたいです。

八戸学院光星高校

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです